

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ポップ
------	-----

公表日 年月日
 利用児童数
 22名 年月日

回収数
 12

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					スペースが限られているため、完全に子供たちの活動に合わせた空間づくりは無理ですが、可能な限りお子さんたちの活動に合わせた空間や職員等の環境設定に取り組みます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					専門職による相談会、専門性を高める研修への職員を派遣する等の取り組みを行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			2		HP上には公表していますが、事業所内にも閲覧できる箇所を設けます
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					児発管（責任者）の独りよがりな支援にならないように、すべての職員の視点を取り入れ相談して進めていきます。
	8 放課後等デイサービス計画、児童発達支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1		計画の策定や実施時に、保護者さんにわかりやすく説明できるように配慮します。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				1	・個別の関わりをしてくれるので、ひらがな・カタカナのトレーニングをしてもらい、学校での学習の音を取り戻すことができました。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	3	1		・支援学校ではなく、地域の学校に行っているため、常日頃から地域の子供たちと交流している。そのため、あえて必要性を感じていない。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					契約時や契約変更時に丁寧に説明するようにしていきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					計画立案時や計画更新時には、説明をするようにしています
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	3	1		児童発達支援では、保護者さんにも来書されるため家族支援や研修会の案内、情報共有が十分にできています。一方、放課後デイではゆとりとコミュニケーションをとる時間が確保できておらず、情報提供の機会が不十分となっていました。情報周知や保護者さんと連携をできる方法を検討します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1	1			・児発では、母子同伴であるため療育中に常に相談ができるので助かっている。 ・放課後デイでは、あまり相談できる時間がなく、もう少し相談できる時間を設けてほしい。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10				2	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	3	2		・きょうだいがいないので、必要性を感じない。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		1		児童発達支援では、常に保護者さんとコミュニケーションをとる時間があるので十分できていると思います。一方、放課後デイでは支援計画の更新時などしか相談する機会がないため、送迎時に添乗するなどして日々の保護者さんの相談等のニーズに応えるようにしていきます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	2		2	・LINEなどで適時してもらっている。	XやLINE、連絡帳などを用いて情報発信をできるようにしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			2		契約時や改定時に、マニュアルが徹底できるように注意します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			2	・避難訓練として避難場所の学校や公園に行く練習集をしていると、子供から聞いた。	災害時に迅速で安全な対応ができるように取り組みます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			3		安全計画の周知や事業所内での徹底を図っていきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			2		保護者さんが不安を感じないように、迅速できめ細やかな対応ができるように取り組みます
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12					安心・安全な事業所作りに取り組んでいます
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				・体調を崩しても行きたがるほど、楽しみにしている。	すべてのお子さんが楽しんで来れるように継続して工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				・児発のころからずっとよくしてもらっていて、学校にも自信をもって通える手伝いをしてもらっている。	引き続きより良い支援ができるようにスタッフ教育、連携を図っていきます。